

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

びっちゅうまつやまじょうあと

備中松山城跡

新見市

高梁市

総早倉矢井浅里笠
社島敷掛原口庄岡
市町市町市市町市



ぼしよ
場所

たかはし しうちさん げちない
・高梁市内山下地内



しだい
時代

かまくら じだい
・鎌倉時代



し てい ねん が っ ぴ
指定年月日

しょうわ
・昭和31(1956)年
11月7日



しよ ゅう
所有

くに こじん たかはしし
・国、個人(高梁市)



し せき

この史跡について

びっちゅうまつやまじょうあと たかはし し がい ち きたがわ がぎゅうざん つく やまじろ いま やく ねんまえ
備中松山城跡は、高梁市街地の北側にある臥牛山に作られた山城です。今から約777年前に作
られてから、徐々にお城が大きくなっていき、戦国時代には21カ所の砦が作られていたといわれ
ています。備中では大きなお城であることから、島根県の尼子氏や広島県の毛利氏が奪い合いを
おこな
行っています。

やく いし がき げんざい み かたち
今から約330年前に石垣などが作られて、現在見ることのできる形になったといわれていま
す。備中松山城の天守は、このときから残っているものであり、全国に12カ所残っている天守の
一つで、日本で山城に天守が残っているのは備中松山城だけです。

し せき し てい じょうない しょ かまくら じ だい せん ごく じ だい とりで あと え ど じ
史跡に指定されているのは、城内の8カ所であり、鎌倉時代から戦国時代の砦の跡や、江戸時
代以降の石垣など、どちらも見ることのできる珍しいお城です。